

宇宙科学研究のためのものづくり 先端工作技術グループ

◆先端工作技術グループとは？

平成28年、宇宙科学研究所研究・基盤技術グループ
工作室および宇宙機応用工学研究系宇宙ナノエレクト
ロニクスクリーンルームが改組し、先端工作技術グル
ープとして誕生しました。先端工作技術グループは、10
年先、20年先の宇宙科学研究を支える、宇宙機器開発の
ための機械工作、デバイス開発に取り組んでいます。



D棟3Fの工作室

◆新工作室の設立と我々が目指す先

我々は、現在新工作室を立ち上げ中です。現在ある
工作室を発展・拡張させる目的は、分野の垣根を超えた
知識・ノウハウ・技術を更に蓄積・集約し、JAXAの
将来ミッション候補やそれらに資する研究の試作
検討過程を支援し、研究開発を支えるためです。また、
実験ジグ、BBM(Bread Board Model)、最終的には衛星
搭載用FM (Flight Model) 品まで作製できる高度な加工、
設計支援を行っていきたいと思っております。



現在立ち上げ中のD棟1Fの新工作室

◆宇宙ナノエレクトロニクスクリーンルーム

宇宙ナノエレクトロニクスクリーンルームは、JAXA
宇宙科学研究所が誇る、ISO クラス 1(1立方メートル
あたり、0.1 μ m、0.2 μ m (μ は0.000001の単位)の
大きさの塵がそれぞれ10個、2個以下)の世界最高の
清浄度を誇るスーパークリーンルームです。このクリ
ーンルームでは、宇宙用エレクトロニクスデバイスや、
センサー、フィルター等を研究開発しています。



ぜんけい
スーパークリーンルーム全景

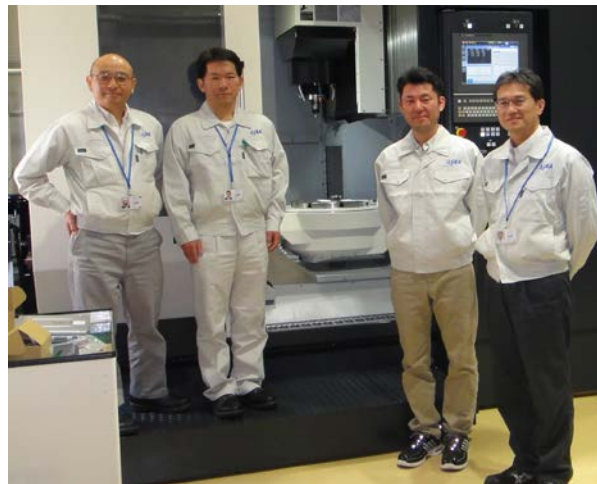


せんようむじんふく
専用無塵服

◆岡田グループ長から一言



このグループは、
機械工作技術とデバイス開発技術の
両面で宇宙研内部での『ものづくり』を
実践しています。特にインハウスでの
研究開発を強力に支援していきます。
ご期待ください。



新工作室スタッフ